



WTOSシンククライアント(S10/V10L) システムフォルトトレランス設定

ワイズテクノロジー株式会社
松浦 淳

Agenda

-
- **WebサーバーによるWTOS管理**
 - **FTPサーバーによるWTOS管理**
 - **WTOS管理サーバーの設定ファイル例**
-
-
-



WebサーバーによるWTOS管理 ~システムフォルトトレランス~

WTOSの中央管理: Webサーバーによる管理

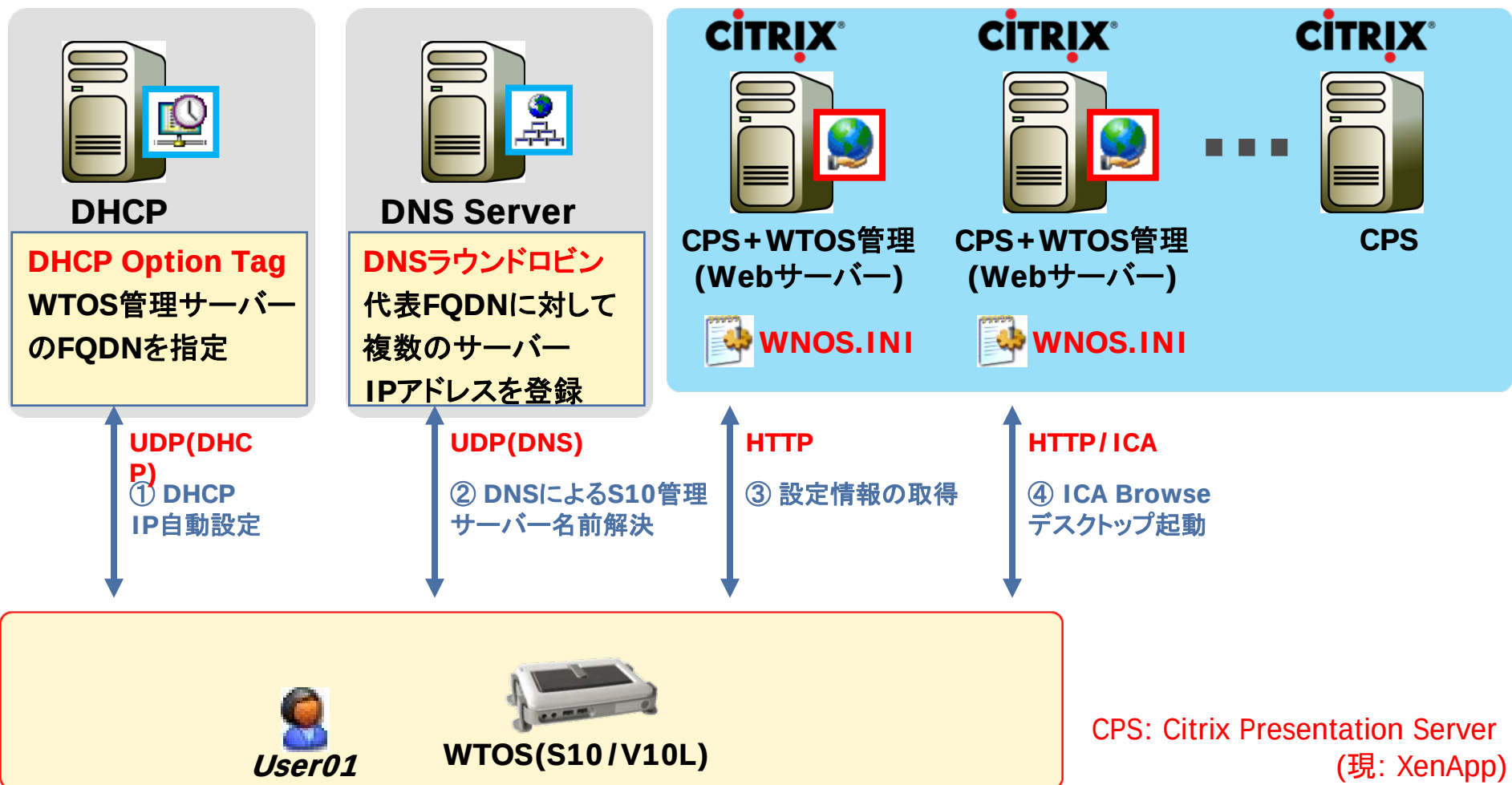
導入システム概要

特徴

1. WTOS(シンクライアント)管理サーバーを**Webサーバー**
2. DHCPオプションタグに**WTOS管理サーバーURL**を登録
3. **DNSラウンドロビン**による冗長化
4. WTOSの端末設定は全てWTOS管理サーバーで管理
(WTOS上に**初期設定 / カスタマイズは一切不要**)

WTOSの中央管理: Webサーバーによる管理

概要(WTOS起動シーケンス)



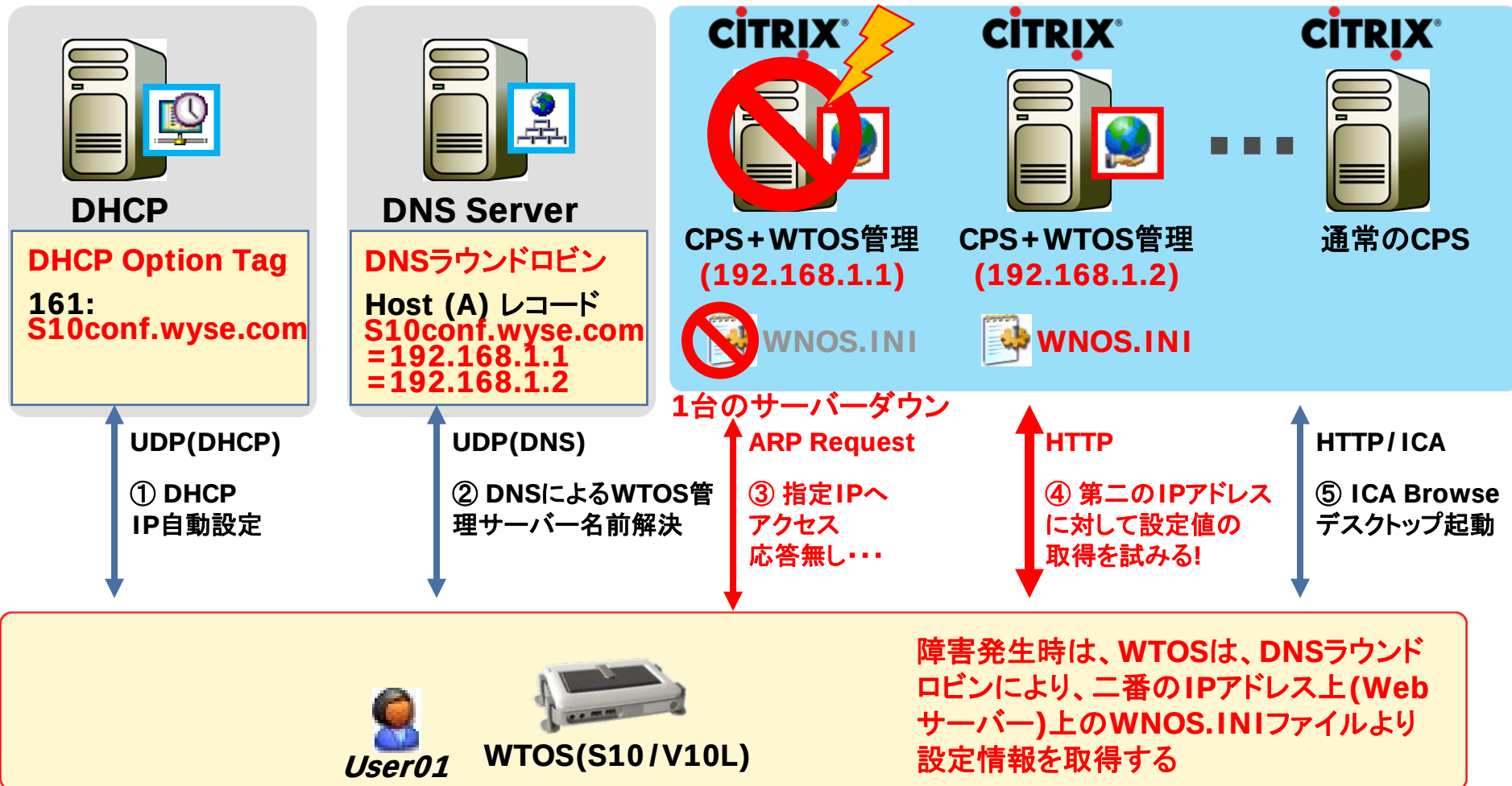
WTOSの中央管理: Webサーバーによる管理

各コンポーネントの詳細説明

提案構成概要	説明	効果(メリット)
WTOS管理サーバー Webサーバー (IIS)をCPSに同居	HTTPによるWTOSの管理のため、CPS上にIISを搭載する。WTOSは、起動時にIISより、2KByte(ペイロード)程度の設定情報(テキストベース)を取得するだけなので、CPSのパフォーマンスの影響は無い。	ICA Browse(HTTP)用のプロトコルと同じなため、中間ネットワークの変更は不要
DHCPサーバー DHCPオプションタグの設定	DHCPサーバー利用時に、管理サーバー(IIS)の URL指定 を実施し、WTOSへのローカル設定/カスタマイズを完全に無くす。	DHCPサーバー(オプションタグ)の導入により、WTOSのローカル(手動)設定は一切不要(シンクライアント上の初期設定も不要)。
DNSサーバー DNSラウンドロビン設定	WTOSは、管理サーバーからCitrix Presentation ServerのIPアドレス、起動アプリケーション情報を取得し、起動後すぐに、CPSへ接続開始。	設定の変更は、WNOS.INIファイルの記述だけで実施可能。ファームウェアのアップデート(必要な場合)も、中央から一括で実施。
シンクライアント(Wyse S10) ローカルコンフィグレーション無	DNSラウンドロビンを利用し、CPS(IIS)障害発生時には、他のCPS(IIS)が管理サーバーとして機能する。	障害発生時、若干のWTOS起動が遅くなる端末が出るが、障害のCPS(IPアドレス)エントリをDNSサーバーから一時的に取り除くことですぐに回避可能。

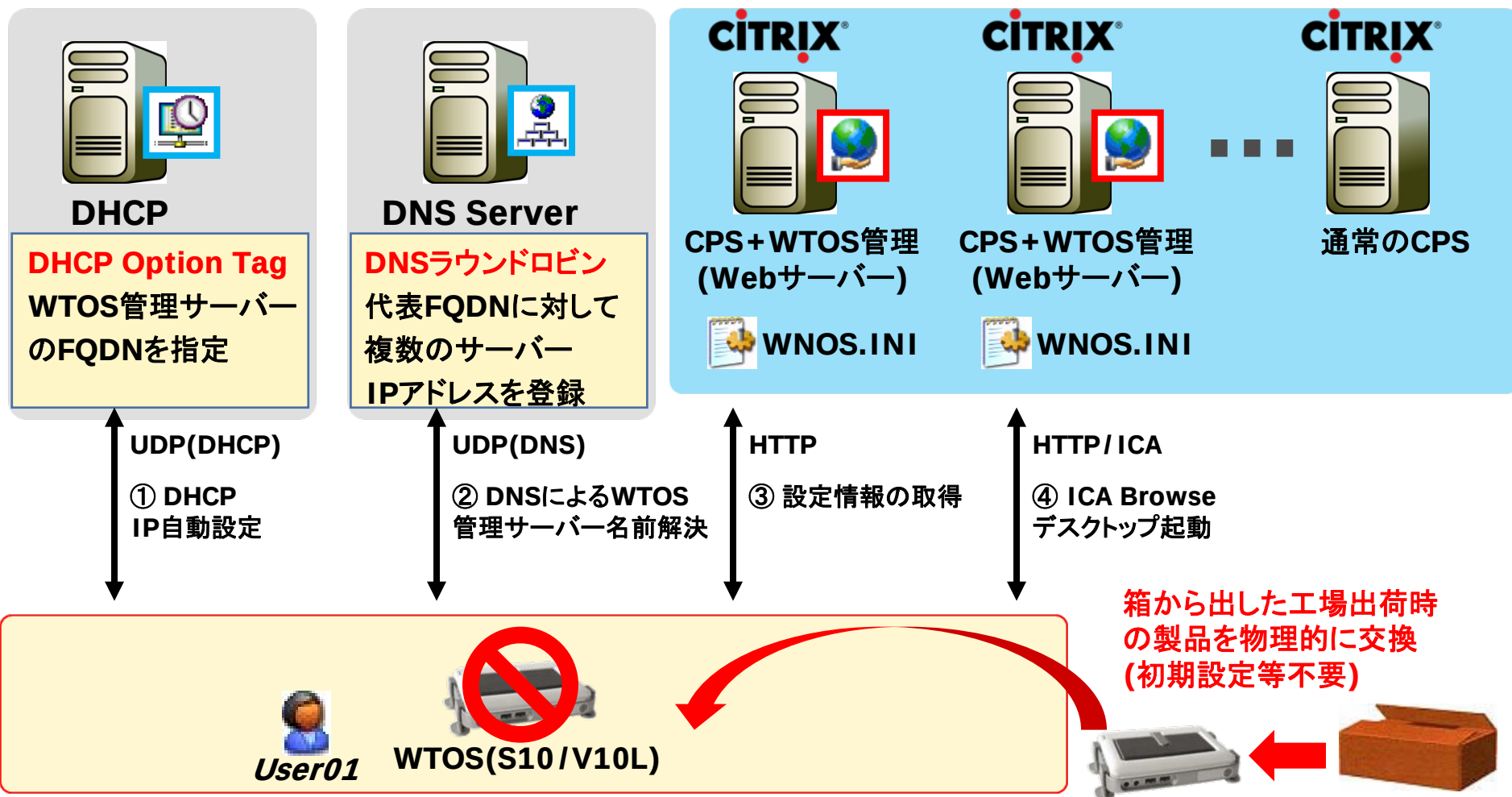
WTOSの中央管理: Webサーバーによる管理

障害発生時その1: S10管理サーバーの障害



WTOSの中央管理: Webサーバーによる管理

障害発生時その2: WTOSシンククライアントのハードウェア障害





FTPサーバーによるWTOS管理 ~システムフォルトトレランス~

WTOSの中央管理: FTPサーバーによる管理

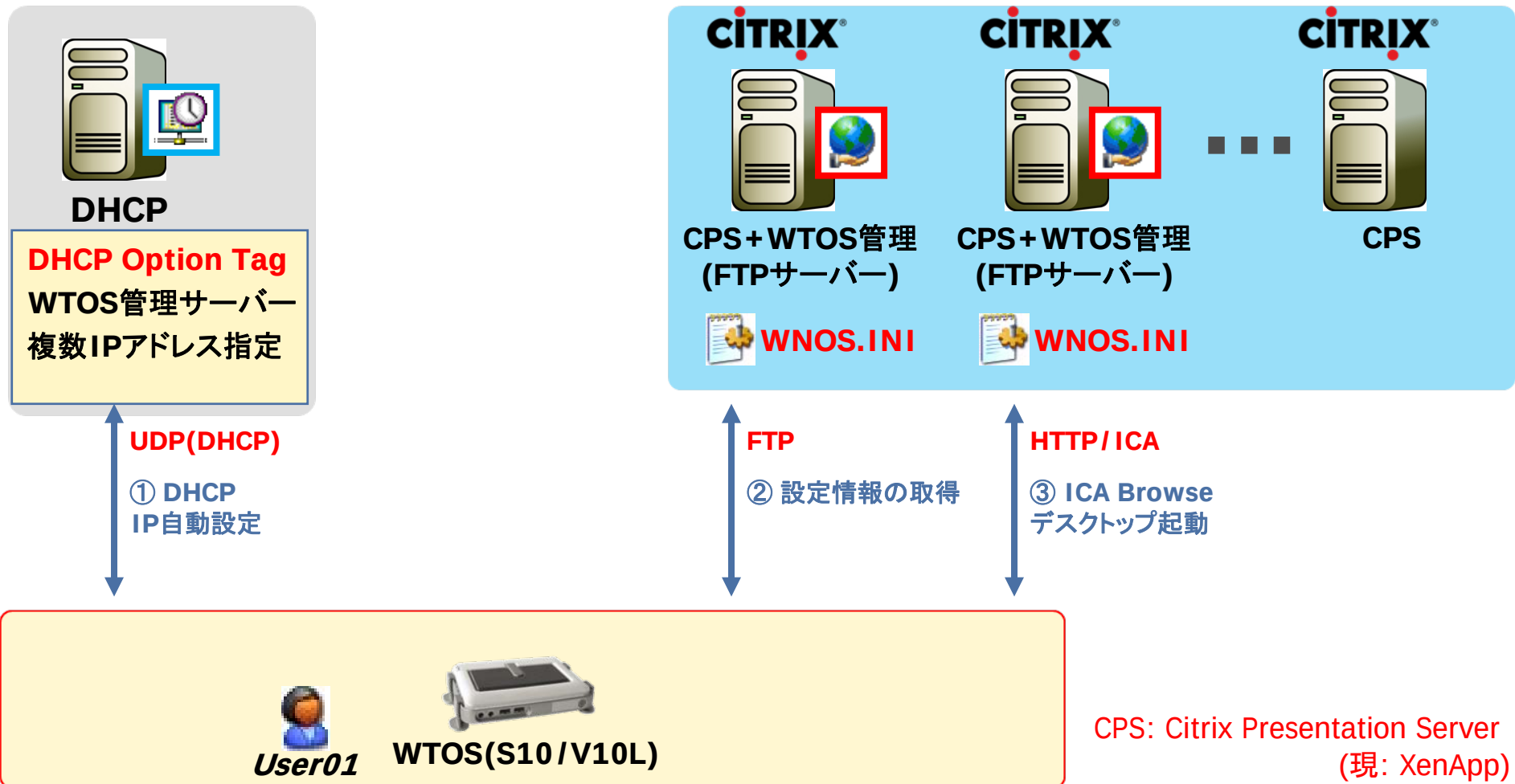
導入概要

特徴

1. S10(シンクライアント)管理サーバーを**FTPサーバー**
2. DHCPオプションタグに**FTPサーバー(複数IPアドレス)**を登録
3. WTOSの端末設定は全てWTOS管理サーバーで管理
(WTOS上に**初期設定 / カスタマイズは一切不要**)

WTOSの中央管理: FTPサーバーによる管理

概要(WTOS起動シーケンス)



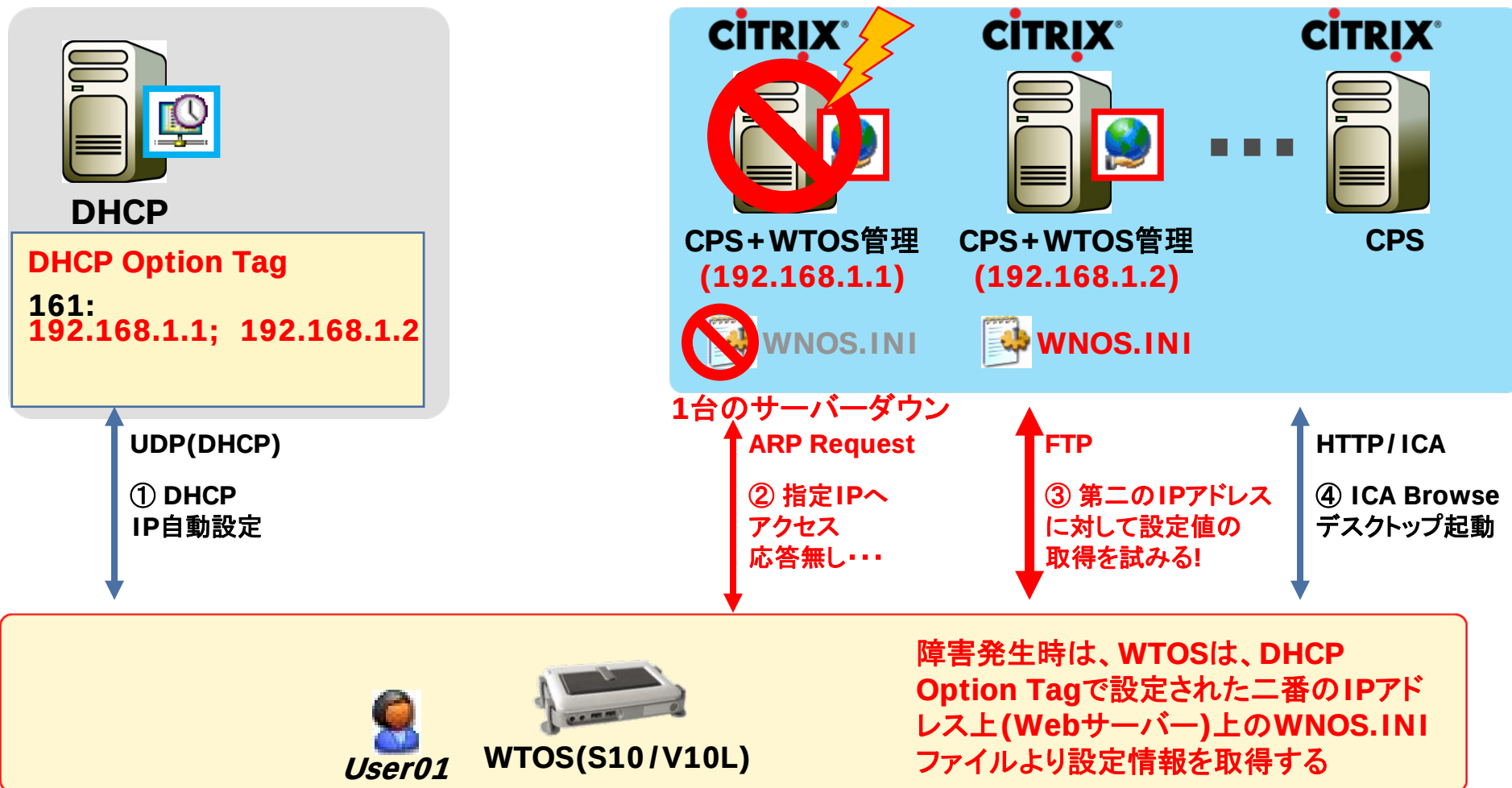
WTOSの中央管理: FTPサーバーによる管理

各コンポーネントの詳細説明

提案構成概要	説明	効果(メリット)
WTOS管理サーバー FTPサーバー (IIS)をCPSに同居	FTPによるWTOSの管理のため、CPS上にIIS(FTP)を搭載する。WTOSは、起動時にIISより、2KByte(ペイロード)程度の設定情報(テキストベース)を取得するだけなので、CPSのパフォーマンスの影響は無。	ICA Browse(HTTP)用のプロトコルと同じなため、中間ネットワークの変更は不要
DHCPサーバー DHCPオプションタグの設定	DHCPサーバー利用時に、管理サーバー(FTP)の IPアドレスを複数指定 を実施し、WTOSへの手動設定を完全になくす。	DHCPサーバー(オプションタグ)の導入により、WTOSのローカル(手動)設定は一切不要(シンクライアント上の初期設定も不要)。
シンクライアント(WTOS) ローカルコンフィグレーション無	WTOS上にFTPの冗長化設定がリモートで実施されるため、CPS(IIS)障害発生時には、他のCPS(IIS)が管理サーバーとして機能する。	障害発生時、若干のWTOS起動が遅くなる端末が出るが、障害のCPS(IPアドレス)エントリは、WTOS上に複数登録(冗長化)される。

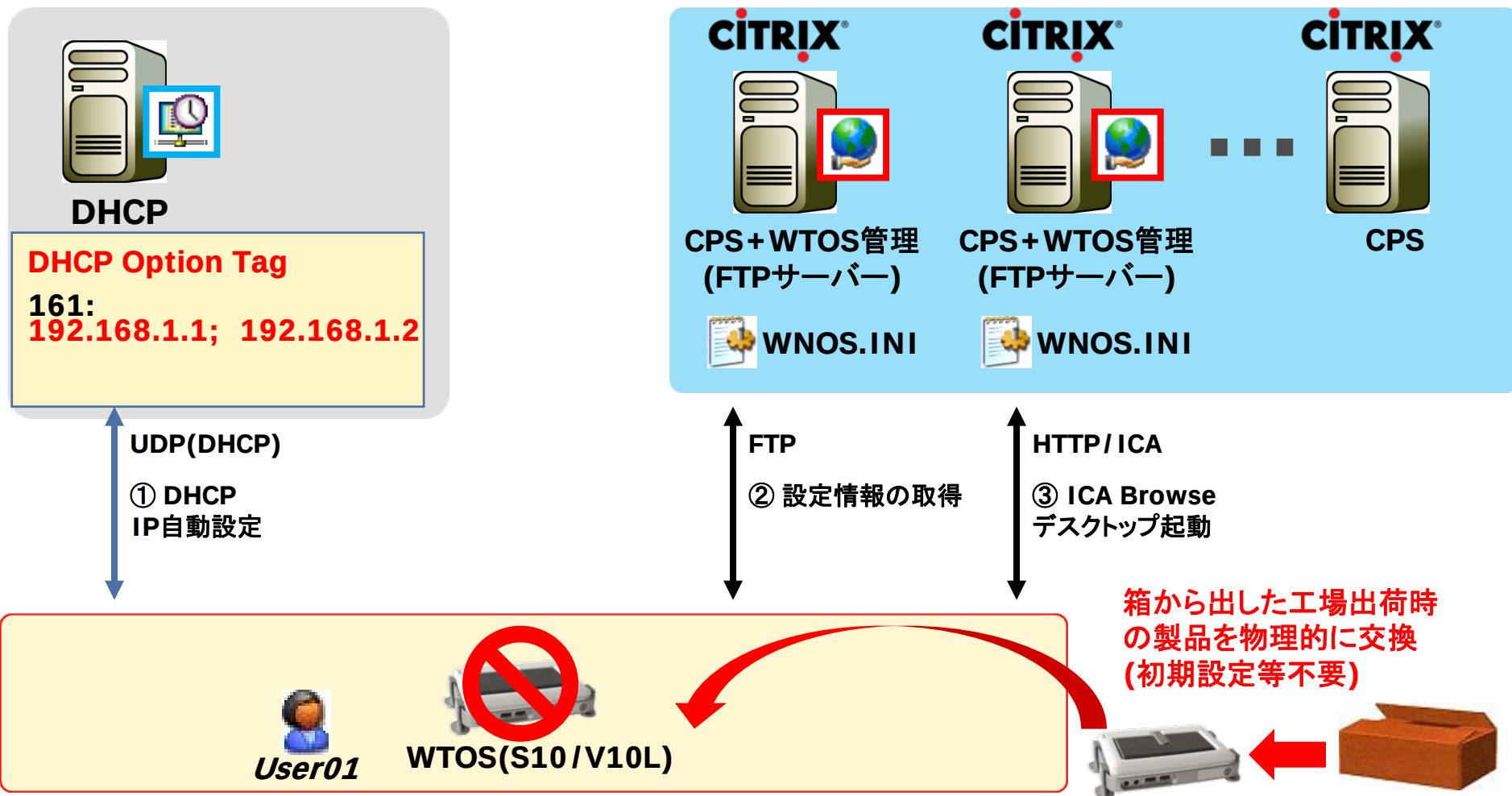
WTOSの中央管理: FTPサーバーによる管理

障害発生時1: S10管理サーバーの障害



WTOSの中央管理: FTPサーバーによる管理

障害発生時1: S10管理サーバーの障害





WTOS管理サーバーの設定ファイル例 ～WNOS.INI設定例～

WTOS管理サーバーの設定ファイル例

WNOS.INI設定例



↑ **HTTP/FTP**
HTTPもしくはFTP通信
により、WTOSの設定
情報を中央管理サー
バーより自動的に取得

WNOS.INI 設定例

```
### エンド様用設定 ###  
  
#WTOSローカルの権限  
Privilege=High  
  
#WTOSローカルログオンモード  
Signon=no  
  
#CPS(XenApp)接続設定  
Connect=ICA ¥  
Description="CPS Desktop" ¥  
Application=desktop ¥  
Browserip=192.168.1.3;192.168.1.4 ¥  
Fullscreen=yes ¥  
LocalCopy=yes ¥  
Autoconnect=1  
  
#WTOSセッションログオフ時自動シャットダウン  
Autosignoff=yes ¥  
Shutdown=yes  
Shutdowncount=0
```



設定パラメータの説明

パラメータ	設定内容
Privilege	WTOSローカルデスクトップの権限設定 [High, Low, None]の三つのレベルが設定 可能
Signon	WTOSローカルログオンモードの設定 [No, Yes, NTLM]の三つのレベルが設定可 能。WTOSローカル認証は必要ないた め、"No"を設定
Connect	接続プロトコル設定(ICA or RDP)
Description	WTOSローカルに表示される接続名(任意)
Application	CPS上で設定されている公開アプリケーショ ン名。この接続で接続するアプリケーション。
Browserip	ICAブラウザ用のCPSのIPアドレス。CPSとの 接続に複数のIPアドレスを登録することが 可能。
Fullscreen	ICA接続プロパティ(全画面設定)
LocalCopy	この接続設定をWTOSのローカルNVRAMに 保存する設定。
Autoconnect	WTOS起動時に、この接続設定を自動的に 起動する設定。
Autosignoff	ICA/RDPセッションがログオフ/切断された 時にクライアント端末の電源をOFFにする設 定
Shutdown	ICA/RDPセッションがログオフ/切断された 時にクライアント端末の電源をOFFにする設 定
Shutdowncount	電源をOFFにする前に待機する時間(sec)